

## 東京都東部の庭園 葛飾区

### カシャリ！庭園めぐりの旅

若い頃からひとり旅が好きで、経営コンサルタントとして独立してからは、仕事の合間に旅をしたのか、旅行の合間に仕事をしたのかわかりませんが、カメラをぶら下げて【カシャリ！ひとり旅】をしてきました。

旅のテーマは寺社や庭園めぐりです。

日本には「日本庭園」と呼ばれる庭園だけではなく、「イングリッシュガーデン」など、海外の庭園形式をした庭園も多数あります。寺社を訪れたときに、想定していなかったところに、庭園を発見することもあります。

下手の横好きで、【カシャリ！ひとり旅】を続けていますが、その一環で訪れた庭園を順次紹介してまいりたいと思います。

動画では、庭園の詳細説明は冗長になってしまいがちです。それをカバーするために写真も紹介し、その中で、動画では説明し切れていない部分を補ってくださいと幸いです。

仕事のついでに行ったときは、スマホやコンパクトカメラで撮影していますので画質があまりよくなかったり、ピンボケであったりする写真・映像も含まれています。

また、アングルやフレームなどを十分に検討した写真ではなく、カシャリ、カシャリとシャッターを押した、私の限られた感性での写真ですので、たいした作品ではありません。

それらをベースにして、別途撮影した動画を加えてムービーとした作品を紹介しています。

私の旅の足跡のひとつとして作成していますので、独断と偏見でもって編集した駄作であることをご容赦くださるようお願いいたします。

#### 【注】

【カシャリ！庭園めぐりの旅】の当インデックスページは、改訂作業中で、お見苦しいことをご容赦くださるようお願いいたします。

ユーチューブで見る [【カシャリ！庭園めぐりの旅】](#)

写真集は、下記URLよりご覧いただくことができます。

静止画：<http://www.glomacanj.com/butsuzou/meisho/indexmeisho.htm>

映像：<http://www.glomacanj.com/butsuzou/meisho/indexmovie.htm>

### 【注】

この資料は、【Wikipedia】などネット情報を編集して掲載しています。  
紹介している庭園等は、まだ、私が訪れていないところも含んでいます。  
写真等は、準備でき次第アップロード致します。  
映像集と庭園めぐりは、重複した映像が含まれています

## 庭園 東京東部 葛飾区・墨田区・江東区・江戸川区

- |    |      |
|----|------|
| 01 | 葛飾区  |
| 02 | 墨田区  |
| 03 | 江東区  |
| 04 | 江戸川区 |

## 01 葛飾区の庭園

### 0101 柴又帝釈天庭園“遼溪園” 葛飾区 京成柴又

<https://oniwa.garden/shibamata-taishakuten-suikeien-garden-%e6%9f%b4%e5%8f%88%e5%b8%9d%e9%87%88%e5%a4%a9-%e9%82%83%e6%b8%93%e5%9c%92/>  
<http://www.taishakuten.or.jp/>

寅さんの町・葛飾柴又を代表する寺院「柴又帝釈天」（しばまたたいしゃくてん）。その庭園である遼溪園は昭和中期に築庭されたもの。作庭は永井楽山。庭園と合わせて見られる、昭和初期に作られた彫刻ギャラリーが圧巻！

### 遼溪園（すいけいえん）

遼溪園は、日蓮宗の寺院である「柴又帝釈天」「題経寺」の大客殿前に広がる池泉式庭園です。昭和40年（1965年）に、向島の庭師「永井楽山」の設計・作庭による庭園です。庭園へは立ち入れませんが、昭和59年（1984）、庭園の周囲に設けられた100mもある屋根付きの、Z字型に続く廊下から楽しめます。

池泉には平石橋が架けられ、護岸には石が敷き詰められています。庭の中央には、巨石に

松の支柱が乗せられていたり、池泉には、おきまりではありますが、鯉が泳いでいたり、石には亀が休憩していたりします。

切石に窪みを掘った手水鉢の脇やその先の猿の置物には日本酒が置かれています。

回廊ができる前は、大客殿から庭園を望むだけでしたが、回廊ができたおかげで、地越しに大客殿を望めるようになりました。

大客殿では冷茶やお茶のセルフサービスが提供されていますので、一息いれて休憩を取れます。

庭園そのものは、800平米と中規模程度の大きさです。しかし、柴又帝釈天は「彫刻の寺」ともいわれ、本堂下などに彫刻ギャラリーとして、緻密な彫り物を鑑賞できます。日本庭園と彫刻の両方を楽しめ、訪問者の満足度を高めています。

## アクセス

東京都葛飾区柴又7丁目8-12 電話 03(3657)2886

京成線「柴又」駅 徒歩3分

北総公団線「新柴又駅」下車徒歩12分。

JR小岩駅より京成バス（金町行）に乗り15分程、「柴又帝釈天」下車。

JR金町駅より京成バス（小岩行）に乗り5分程、「柴又帝釈天」下車。

JR常磐線 金町駅より徒歩20分

## 駐車場

なし（柴又公園駐車広場から徒歩10分。1日500円）

## 開園

午前9時～午後4時

12月28日～1月3日迄は庭園のみ閉園。同期間は拝観料が半額。

## 入園料

庭園・彫刻ギャラリー共通 大人 400円 小中学生 200円



### 【参考】

毎朝五時半、祈祷を厳修、法華經壽量品、読誦一万巻成就。  
祈祷の御札、御守は一月十五日より三月末日までに授与致します。  
申込受付 毎年十月一日より受付ます。

当山の中興第九世亨貞院日敬（こうていいんにちきょう）上人の時、江戸を中心に大疫病が流行（有名な天明の大疫癘（えきれい）、日敬上人は諸人救済のため一粒符を感得、是を病人に施与し、妙符を戴いた者が不思議に本復した。以来、今日に伝わり、その靈験は著しく、幾多の人々が救われているのです。

12月28日～1月3日迄は庭園のみ閉園させていただきます。

【御祈願受付】 午前9時～午後3時30分

【閉堂時間】 平日：午後5時 土日祝祭日：午後6時

【開門時間】 午前5時～午後8時

古い記録によりますと文化文政（1803～1829年）の頃 当山はすでに六間四面の帝釈堂がありました。正面の小さな山門を潜って石畳を進むと、突き当たりに帝釈堂があって、お堂の前には瑞龍の松があり、その右に祖師堂（本堂）、左に庫裡があったようです。

### 開山

当山は経栄山題経寺（日蓮宗）と言い、寛永年間（1629）に開基され、開山上人を下総中山法華経寺第十九世禅那院日忠（ぜんないんにちちゅう）上人とし、その弟子の第二代題経院日栄（だいきょういんにちえい）上人が実際の開基である。

### 板本尊の出現

当山には昔より日蓮聖人御親刻と言われる帝釈天のご本尊が安置されていたが、江戸中期

の一時所在不明となっていた。安永年間に至り当山の第九代亨貞院日敬（こうていいんにちきょう）上人は此の寺のお堂が荒廃したのを歎き、その復興を計ったところ、安永八年（1779）の春、本堂改修中の梁上にこのご本尊を見出し、ついにご本尊の再来の法悦にあつたのである。その吉日が庚申（かのえさる）に当たったことが、当山と庚申の結縁の始まりになったのである。

日敬上人は自ら誌した略縁起に「本堂棟上より出現した本尊は長さ二尺五寸、幅一尺五寸、厚き五分の板で、形に似ずまことに重く、且つ堅く媒塵に汚れてよく判らなかつたが、水でよく清めたところ、片面は日蓮聖人の真刻、病即消滅本尊の形木、片面は帝釈天王の像である。これこそ疑うべくもなく、当寺相伝の祈祷本尊である。」と非常な驚きと喜びを述べられている。

#### 板本尊々形

この御本尊の片面には、中央に「南無妙法蓮華経」のお題目が書かれ、両脇には、法華経・薬王品の「この経はこれ閻浮提《仏教で全世界のことを言う》の人の病の良薬なり、もし人病あらんに、この経を聞くことを得ば、病即ち消滅して不老不死ならん」という経文が彫られてあり、そしてもう一方の面には、右手に剣を持ち、左手を開いた忿怒の相をあらわした帝釈天御本尊が彫られてある。これは悪魔降伏の尊形であり、即ち我々仏の教えを信仰し、従う者には、もし病難や火難、その他一切の災難に遇えば、帝釈天が必ず守護し、この悪魔を除き退散させてくれると言うものである。

#### 不思議

世は安永が九年で終わり、次いで天明となり、あの飢饉、大疫蔓延の年即ち天明三年を迎えた。日敬上人は災難に遇っている人々救うはこの時にありと、この板本尊を自ら背負い、江戸をはじめ下総の国の諸処を訪れ、感得した一粒符を多くの病者に施与し、本尊を拝ませて不思議な御利益を授けたということである。

#### 宵庚申

こうして江戸を中心とした帝釈天信仰が高まり殊に江戸時代盛んであった「庚申待ち」の信仰と結びついて、「宵庚申」の参詣が盛んになった。

明治初期の風俗誌には『庚申の信仰に関連して信ぜらるるものに、南葛飾郡柴又の帝釈天がある。帝釈天はインドの婆羅門教の神で、後、仏法守護の神となったが、支那の風俗より出た庚申とは何の関係もない、此の御本尊は庚申の日に出現したもので、以来庚申の日を縁日として東京方面から小梅曳舟庚申を経て、暗い田圃路を三々五々連立って参り、知る人も知らない人も途中で遇えば、必ずお互いにお早う、お早う、と挨拶していく有様は昔の質朴な風情を見るようである。』と書いてある。見渡す限りの葛飾田圃には提灯が続き、これが小梅、曳舟から四ツ木、立石を経て曲金（高砂）の渡しから柴又への道を又千往、新宿を通過して柴又へ至る二筋の道に灯が揺れて非常に賑やかだったと言う事である。茶屋の草だんご等は今に至っている。

人々は帝釈天の本堂で一夜を明かし、一番開帳を受け、庭先に溢れ出る御神水を戴いて家路についたのであった。

#### 帝釈天

帝釈天はインド最古の聖典である『リグ・ヴェーダ』の中で最も多くの賛歌を捧げられて

いる軍神・武勇神インドラと呼ばれる重要な神さまです。漢字に音写して釈提桓因（シャクダイカンニン）」と呼ばれて梵天と共に護法の善神とされています。帝釈天は須弥山の頂上の喜見城に住んでいて、忉利天に住む神々の統率者です。しかも正法を護持し、仏の教えを聞いて、柔和にして慈悲に富み、真実を語り、正法に従う正しい神さまです。しかし仏陀の教えを聞くまでは、諸天を糾合して阿修羅と戦っていた荒々しい神でもありました。帝釈天は三十三天（忉利天）の主であると同時に四天王を統率し、人間界をも監視します。即ち衆生が殺生、盗み、妄語等を為さないか、父母に孝順であるか、師長を尊敬するか、貧しい人に施しをするかどうか、毎月八日、二三日には人間界に使者を遣わし、一四日、二九日には王子を遣わし、一五日、三〇日には四天王が自ら姿を変えて人間界を巡歴し、衆生の善悪の事を監察するといわれています。従って人々はこれらの日を六斎日といっって行いをつつしむのです。四大天王・護世四天王・四天ともいいます。四方鎮護・国家守護の四神、東方の持国天・南方の増長天・西方の広目天・北方の多聞天（毘沙門天）を四天王といいます。須弥山の中腹にある四王天の主で、上は帝釈天に仕え、下は八部衆を支配して、仏法とその皈依の衆生を守護する神で法華経の序品に列座しています。

当山の四天王は二天門の右に増長天、左に広目天が、帝釈堂内の御本尊の両側に持国天・多聞天がおられます。多聞天（毘沙門天）は右手に矛を、左手に宝塔を持ち北方を、持国天は右手に剣を持ち東方を、増長天は左手に剣を持ち南方を、広目天は右手に剣を、左手には巻物を持ち西方をそれぞれ守護しています。

日蓮聖人は『祈祷鈔』に「四天王は須弥の腰に」、また『清澄寺大衆中』に「四天・十羅刹、法華経の行者を守護し給はん」と述べられています。なお薬王菩薩と勇施菩薩を二聖といい、持国天と毘沙門天を二天といいます。

## 0102 堀切菖蒲園 01 葛飾区 京成本線・堀切菖蒲園

<https://oniwa.garden/horikiri-shobuen-%e5%a0%80%e5%88%87%e8%8f%96%e8%92%b2%e5%9c%92/>

<http://www.city.katsushika.lg.jp/institution/1000096/1006888.html>

歌川広重も描き、江戸幕府将軍・徳川家慶、徳川家定も訪れた堀切の菖蒲園。東京都内の花菖蒲の名所。

「堀切菖蒲園」（ほりきりしょうぶえん）は東京都内の花菖蒲の名所で、葛飾区指定名勝。6月上旬～中旬にかけて園内で栽培されている江戸花菖蒲を中心とした200種6000株の花菖蒲が見頃を迎え、それに合わせて『葛飾菖蒲まつり』も開催されます。2019年、初めて足を運びました！

堀切は江戸時代には花菖蒲の名所として広く知られていたようで、歌川広重や歌川豊国といった絵師もその景観を描いていました。江戸期から更に時代を遡り、室町時代に当地を治めた久保寺胤夫が郡山の安積沼から持ち込んだという伝承もあるそう。

江戸時代後期、堀切の百姓・小高伊左衛門が各地の花菖蒲を収集し、後に日本で最初の観光花菖蒲園となった『小高園』を開園。その菖蒲園の評判が広がり、江戸幕府12代目将軍・徳川家慶と後の13代目将軍・徳川家定や、尾張藩主・徳川齊荘が立ち寄り賛辞が送られたそう。

明治時代以降には『小高園』のほか『武蔵園』『吉野園』『観花園』『四ツ木園』『菖香園』『堀切園』といった多くの菖蒲園が開園したそうですが、二度の世界大戦や近代の都市化によりその殆どが消失。

戦後、唯一復興を果たした『堀切園』が現在の“堀切菖蒲園”の名で公開され、その後東京都が買収し葛飾区に移管され今日に至ります。見た目は新しい公園のような感じではありますが、歴史ある庭園の一つと言っても良い場所。

勿論メインは一面の花しょうぶなのですが――今回訪れた時期にはサツキツジもピンク色の花を咲かせていてその組合せもまたきれいだった！今回の写真の風景は6月の短い期間にしか見られないものですが、その他の季節にも春には牡丹や藤棚やカキツバタ、秋には萩のトンネル、冬には梅や冬桜なども見所だそう。また園内には食事・喫茶のできる「静観亭」などもあります。



心洗われるハナショウブの風景——今回は初めてだったけど毎年通いたいと思える場所！

アクセス・住所 / Locations

京成本線 堀切菖蒲園駅より徒歩 8 分

〒 124-0006 東京都葛飾区堀切 2 丁目 19-1



## 木下川薬師 浄光寺 01 葛飾区 京成押上 四ツ木

<https://oniwa.garden/kinegawayakushi-%E6%9C%A8%E4%B8%8B%E5%B7%9D%E8%96%AC%E5%B8%AB/>

<https://oniwa.garden/kinegawayakushi-木下川薬師>

公式サイト <https://www.kinegawa-yakushi.jp/>

江戸時代には杜若の名所として知られ徳川家康、吉宗、勝海舟らが好んだ古刹。徳川家光お手植えの“登美の松”も。

「木下川薬師」（きねがわやくし）の愛称で知られる葛飾区の寺院「青龍山 薬王院 浄光寺」は平安時代の849年に創建された江戸の古刹。境内には江戸幕府三代目将軍・徳川家光のお手植えによる“登美の松”があります。命名は八代目将軍・徳川吉宗。そしてその名の碑は勝海舟により書かれたもの。

2019年6月、葛飾の『堀切菖蒲園』へ行く道中に初めて訪れました。立派な庭園があるわけではないけど、こんな由緒あるお寺があるなんて知らなかったので紹介。

平安時代のはじめ、最澄が自ら彫刻した薬師如来像を東国に帰る僧に託しました。その後下総国木下川の草庵に安置され、そしてその存在を知った慈覚大師円仁が弟子に命じ浄光寺を建立。

時が流れ江戸時代に徳川家康により浅草寺の末寺筆頭という寺格に。それ以来徳川将軍家に庇護され、祈願所や徳川吉宗の時代には鷹狩の御膳所（食事場所）に。幕末には勝海舟も厚く信仰し、明治時代に戦死した西郷隆盛を偲んで西郷の留魂祠を設置。なおこの碑は現在は『勝海舟記念館』のある大田区の洗足池公園に移築されています。

大正時代に元の位置から600m程離れた現在地に境内を移転。なので現在建つ釈迦堂・仁王門・薬師堂などは現代に入ってから再建されたものですが、仁王門内の木造金剛力士像は江戸時代初期の1663年（寛文3年）に浄光寺僧侶・忠辨と名主の大塚六右衛門の依頼で京都七条の仏師・五代目兵部藤芳により造られたもので葛飾区指定文化財。その他にも多くの区指定文化財の仏像を所蔵。

境内にはこじんまりながら池泉式の日本庭園があります。浄光寺は江戸時代には杜若の名所として知られたそうで、現在の庭園でもカキツバタを植え育てているそう。訪れた時には“登美の松”のまわりのサツキも花を咲かせてきれいだった！晩春～初夏の東京散歩に。

【公式サイト】 <http://www.kinegawa-yakushi.jp/>

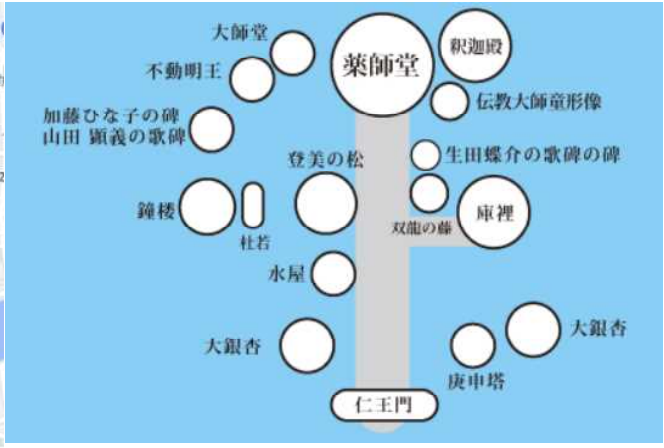
アクセス

京成押上線 四ツ木駅より徒歩11分

JR総武本線 新小岩駅より徒歩 30分

JR新小岩駅・市川駅から路線バス「木下川薬師」バス停下車 徒歩2分

〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木1丁目5-9



## 外谷汐入庭園 01 葛飾区 京成押上 四ツ木

<https://oniwa.garden/sotoya-shioiri-%e5%a4%96%e8%b0%b7%e6%b1%90%e5%85%a5%e5%ba%ad%e5%9c%92/>

[http://www.katsushika-kanko.com/guide/scene/spot\\_1248.php](http://www.katsushika-kanko.com/guide/scene/spot_1248.php)

昭和初期、実業家・外谷辨次郎の邸宅に作庭された近代日本庭園の遺構。モミジや庭石、飛び石が見所！

昭和初期の実業家の個人庭園を改修してつくられた、歴史ある庭園。風情あふれる情景は四季折々に表情を変える。春には藤が、秋には紅葉が美しい。

「外谷汐入庭園」（そとやしおいりこうえん）は新小岩から 20 分ほど歩いた場所にある葛飾区立公園。昭和初期に米穀商を営んでいた実業家・外谷辨次郎の邸宅に作庭された池泉回遊式庭園を、遺族から葛飾区へ寄贈されたことを機に公園として改修整備したもの。2019 年 6 月、葛飾の『堀切菖蒲園』へ行く道中に初めて訪れました。

外谷辨次郎さんという方はこの庭園の説明ぐらいでしか説明がないけれど…この地に邸宅が構えられたのは関東大震災以後の大正時代後半。昭和 8 年頃に現在も残る池泉や築山などの庭園が完成。

特徴的なのは“汐入庭園”という名前。その名の通り、この公園の近くを流れている中川（荒川と並行して流れている）から水を引き入れ、東京湾の潮の満ち引きにあわせて庭園の変化を楽しめる“汐入式”の庭園になっていたため。

そしてもう一つ特徴的なのは現在もよく形を残している飛び石などの庭石や石灯籠などの石造物。特に石橋の周辺には大きな赤石や紀州の青石なども配され、その数で言うと日本全国から集めた 19 種類の自然石が使われているそう。石を楽しもうと思ったら、今回訪れた初夏よりも冬場～春先の方が見応えあるかもなあ。

築山の上からはモミジの新緑が美しかった。秋にはきっと紅葉がきれいなはず！気軽に訪れられる、東京の近代日本庭園の遺構。

JR総武本線 新小岩駅より徒歩 20 分

京成押上線 四ツ木駅より徒歩 20 分弱

JR新小岩駅・市川駅から路線バス「上平井町」バス停下車 徒歩 2 分

〒 124-0025 東京都葛飾区西新小岩 3 丁目 42-3

TEL 03-3693-1777（葛飾区公園課管理運営係）

営業時間 園内自由、年中無休

料金 無料

定休日 なし



**江戸川平成庭園・源心庵（行船公園） 01 葛飾区 東西線西葛西**

<https://oniwa.garden/gyosen-park-edogawa-heisei-garden-%e6%b1%9f%e6%88%b8%5%b7%9d%e5%b9%b3%e6%88%90%e5%ba%ad%e5%9c%92/>

<https://www.edogawa-kankyozaidan.jp/zoo/gyousen/heiseigarden/>

平成元年に作庭された池泉回遊式庭園と、数寄屋建築に枯山水庭園…四季の草花が楽しめる日本庭園

「行船公園」（ぎょうせんこうえん）は明治～昭和初期に東京府議長や衆議院議員を務めた政治家・田中源により寄贈された敷地に開かれた公園で、現在は江戸川区立の公園。「行船」の名は田中源の屋号にちなんだもので、公園内には日本庭園「江戸川平成庭園」（えどがわへいせいていえん）や数寄屋造りの和風建築「源心庵」の他にも無料の動物園「江戸川区自然動物園」も。

公園の北側に位置する「江戸川平成庭園」は平成元年に整備された敷地面積1万2千平方メートルの池泉回遊式庭園。湧水が流れ込んでいる主池は、江戸時代に東京湾の水を引き込んでいた潮入り式庭園にならって、池の水位が上下するような工夫がなされているそう（…説明を読む限り本物の潮入り池ではないと思うのでそう書きましたが、池の名前は「潮入りの池」です）。

庭園と同時にオープンした「源心庵」は地元の方の茶会、句会、華道など和のイベントで利用されているそう。建物が池泉にせり出している一方で、玄関前にある枯山水庭園がとてもカッコいい！

今回訪れた4月上旬は庭園の中も外も桜が見頃で（なお庭園内の枝垂れ桜はライトアップも）、これからの時期は「つつじ亭」前のつつじ、花菖蒲、秋には紅葉、冬には雪吊り…と四季が楽しめるような庭園。

地下鉄東京メトロ東西線 西葛西駅より徒歩15分

〒134-0081 東京都江戸川区北葛西3丁目2-1



## 山本亭庭園 01 葛飾区 京成柴又

<https://oniwa.garden/yamamoto-tei-garden-%e5%b1%b1%e6%9c%ac%e4%ba%ad%e5%ba%ad%e5%9c%92/>

<http://www.katsushika-kanko.com/yamamoto/>

<https://www.city.katsushika.lg.jp/institution/1000094/1006823.html>

「山本亭」は寅さんの町・葛飾柴又、寅さん記念館のすぐ近くにある昭和初期の資産家の邸宅。和洋折衷の主屋から眺める山本亭庭園は池泉式の庭園で、外国人による日本庭園ランキング『しおさいプロジェクト』でここ数年上位に入るなど高い評価をされています。

京成金町線 柴又駅より徒歩 7分 JR常磐線 金町駅より徒歩 20分



この建物は、地元ゆかりの山本工場（カメラ部品製造）の創立者である山本栄之助翁の自宅でした。

関東大震災後、当地に移り住み、以後4代にわたって使われていたものを、昭和63年に葛飾区が取得し、平成3年4月から一般に公開しました。

大正末期から昭和初期に増改築された、当時には珍しい二世帯住宅です。建物は、床の間・違い棚・明かり障子・欄間からなる書院造り、数奇屋風の天井、下端部は石張りで上部は白漆喰塗りの土蔵などの伝統的な和風建築と、壁には大理石のマントルピース、寄木を用いたモザイク模様の床、ステンドグラスをはめ込んだ窓、ガラス製ペンダント照明を用いた、昭和初期独特の洋風建築が複合されています。池泉・築山・滝などを設けた典型的な書院庭園も国内外を問わず高く評価されています。

※開館にあたりましてはお客様の安全を考え、新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組

んでおります（感染症防止策につきましては、下記の外部リンクをご参照ください）。ご来館のお客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

米国の日本庭園専門誌にランクイン

米国の日本庭園専門誌「Sukiya Living（数寄屋リビング）/ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」が実施した日本庭園のランキング調査の結果、山本亭の庭園が2019年4位にランクインしました。

このランキングは、全国900カ所以上の旧所名跡、旅館、旧別荘を対象としています。順位が発表された2003年以降、山本亭は7位以内にランクインし続けています。

所在地〒125-0052 東京都葛飾区柴又7-19-32 電話番号 03-3657-8577 開館時間  
午前9時から午後5時まで

※貸室としてのご利用（茶室含む）は、しばらくの間休止させていただきます。

休館日第3火曜日（ただし第3火曜日が祝日・休日の場合は、直後の平日）、12月の第3火曜日から木曜日

※年末年始は営業

## 【注】

ネット情報を掲載したもの以外の著作権は、下記にあります

c copyright N. Imai All rights reserved

## もくじ

01 葛飾区の庭園	2
木下川薬師 浄光寺 01 葛飾区 京成押上 四ツ木	2
外谷汐入庭園 01 葛飾区 京成押上 四ツ木	4
堀切菖蒲園 01 葛飾区 京成本線・堀切菖蒲園	6
江戸川平成庭園・源心庵（行船公園） 01 葛飾区 東西線西葛西	8
柴又帝釈天庭園“邃溪園” 01 葛飾区 京成柴又	9
山本亭庭園 01 葛飾区 京成柴又	13